

## 学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

## 総合学科

### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

### 1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

### 2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

### 3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みしましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	公民	現代社会	
3	保健体育	体育	
4	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
5	国語	国語表現	選択1
6	外国語	英語理解	選択1
7	家庭	子どもの発達と保育	選択1
8	芸術	構成	選択1
9	情報	情報実習	選択1
10	保健体育	総合スポーツ	選択1
11	理科	生物基礎	選択2
12	農業	グリーンライフ	選択2
13	農業	職業ライセンス	選択2
14	家庭	食文化	選択2
15	福祉	手話入門	選択2
16	商業	簿記実習	選択2

情報・観光系列

17	商業	山梨の観光	
18	商業	ビジネス情報	
19	商業	グリーンライフ	
20	商業	マーケティング	選択3
21	商業	地域産業	
22	商業	財務会計	選択3
23	商業	原価計算	
24	商業	ビジネス実務	
25	商業	プログラミング	
26	商業	課題研究	

# 笛吹高校 教科シラバス

## 平成30年度

### 商業科

#### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

現代の複雑なビジネス社会を行く抜くために必要な、情報処理・簿記・マーケティング等の知識と技術を修得し、将来その知識と技術を地域社会で生かすことのできる力を身に付ける。

#### 1年次の目標

情報観光系列希望者は、2学年からの学習の基礎とするために、情報処理検定試験を受験し、3級程度の技術を身に付ける。

#### 2年次の目標

現代の経済社会のしくみを学ぶとともに、情報処理や簿記の基礎的な知識と技術を身に付ける。  
検定試験では、情報処理2級・日商簿記3級と全商簿記2級・電卓2級・商業経済3級の取得を目標とする。

#### 3年次の目標

現代の経済社会を理解し、高度な情報処理技術・会計処理力やマーケティング力を身に付ける。  
検定試験では、全商簿記1級・情報処理1級・商業経済2級・電卓1級・ビジネス文書2級の取得を目標とする。

#### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

- ① 商業の科目は、各科目が密接に関係していますので、関係性を持った意識で学んでください。
- ② 2年間で高度な内容まで進みますので、次のことに注意しましょう。
  - ・欠席しない……………1科目の授業時間が必ず2時間続きです。欠席すると、  
どんどん進んでしまいわからなくなってしまいます。
  - ・復習をしっかりする…特に簿記は積み重ねの科目です。授業中もしっかり学習し、  
わからないところは、その日のうちに先生に確認しましょう。
- ③ 商業科目は実学です。修得した内容は、少し応用すれば実社会で活用できます。  
常に実際の仕事をイメージし、忍耐力を持って粘り強く学習に取り組みましょう。

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	山梨の観光	単位数	2	必修修	必修	選択
学年・系列・コース	3年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	(準)観光論	副教材	山梨を生きる			
目標とする 生徒の将来像	地域に経済活動に進んで参加できる力を養う					
評価の観点	自ら進んで課題に取り組み、研究成果を発表する					
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力			評価の観点	
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨のツアーをプロデュース</li> <li>1 進路希望による調査研究</li> <li>2 PPIによる発表</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況(日頃の取り組み)</li> <li>発表内容</li> <li>レポート内容</li> </ul>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェスタ笛吹への取り組み</li> <li>1 内容決定</li> <li>2 グループワーク</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況(日頃の取り組み)</li> <li>研究内容</li> <li>PP作成、発表</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業旅行を企画</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書</li> </ul>	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	特になし					
履修にあたって	特になし					

教科・科目	商業・ビジネス情報	単位数	4	必修	必修	選択
学年・系列・コース	3 学年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	ビジネス情報 (実教出版)	副教材	全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報部門1級 (実教出版)			
目標とする生徒の将来像	① 9月実施 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級合格に積極的に取り組める。 ② エクセルを利用することで、データを目的に応じて加工し、有効に利用することができる技術と能力を持った生徒。					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真剣に社会人として生きる覚悟、意識を見るエクセルの持つさまざまな分析機能を利用できるようにする。</li> <li>・ グラフの作成をとおして、分析方法ができる。</li> <li>・ データベースを操作するためのSQL言語を学びます、さらに発展的な内容ができる。</li> <li>・ 試験も大事だが、積極的な発言やレポートの整理等、授業(つまり仕事)への取り組み姿勢を重視する</li> </ul>					
学期	単元・教材	主たる目標・つけない力			評価の観点	
1 学期	1 関数の学習	・ 前年度学習した関数の復習および、新しい関数の利用法を理解する			ノート・実技	
2 学期	2 エクセルの応用	・ エクセルの持つさまざまな分析機能を利用できる			テスト	
	3 SQL言語の学習	・ グラフを駆使し、各種分析ができる ・ データベースを操作するためのSQL言語を理解する			授業態度の観察等	
3 学期	7 経営マネジメント	経営にまつわる様々な諸問題を解決する手法がわかる				
検定資格(時期)	全商協会主催『情報処理検定試験1級ビジネス情報』受験、9月第3日曜日、1月第5日曜日					
諸費用(予定)	全員受験・受験料 1,800円					
履修にあたって	検定に合格することは①の目標にあるとおりであるが、ただ単に検定問題が解ければ良いというわけではない。検定はほぼ同じような難易度で、繰り返し練習することで合格点に到達することができるが、実務ではさまざまな問題を分析し、目的に合ったデータ加工塔が必要になる。単に同じような問題を練習し、パターンで認識するのではなく、実務で使えるようになるという意識を常に持って授業に臨んで欲しい。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	「グリーンライフ」	単位	2	履修区分	必履修 ・ 必修 <b>・ 選択</b>
対象学年・類型・コース	3年総合学科 情報観光系列				
使用教科書	農文協 「グリーンライフ」				
目標とする生徒の将来像	教材を通して、農業農村が持つ多様な機能や魅力を見だし、それらを活用して人と人が交流し、新たな余暇活動と農に関するビジネス、さらには将来のライフスタイルを創造していく。また、授業の中で実施する交流活動など体験を通してコミュニケーション能力を培い、望ましい社会人としての素養を身につける。				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班編制の中での学習活動状況</li> <li>・ 交流活動の成果及び発表の態度 (生徒相互評価を加える)</li> <li>・ 定期試験の評点</li> <li>・ 提出物の成果</li> </ul>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科目オリエンテーション</li> <li>・ グリーンツーリズムの変遷</li> <li>・ 自己のライフスタイルと余暇活動</li> <li>・ 都市と農村の交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフスタイルと余暇の有効活用について理解する</li> <li>・ ライフスタイルの変遷や都市と農村の人的交流が新たなビジネスの可能性を生むことを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査の評価</li> <li>・ 実習への取組状況</li> <li>・ 学習の記録</li> </ul>	
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業・農村の持つ魅力</li> <li>・ 地域を研究する</li> <li>・ 農業・農村の機能と活用</li> <li>・ 自然環境の特徴と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちが暮らす地域の魅力を知り、情報発信について考える</li> <li>・ 自然の価値と環境保全について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査の評点</li> <li>・ 実習ノートの評価</li> <li>・ 交流活動への取組状況</li> </ul>	
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農村文化の発見と活用</li> <li>・ 農耕儀礼と年中行事</li> <li>・ 地域特産物の栽培・加工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の文化や伝統に触れ、その魅力に気づく</li> <li>・ 地域に根差した特産品を知り、地産地消・スローフード・運動について理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査の評価</li> <li>・ 制作物の評価</li> <li>・ 学習の記録</li> </ul>	
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンツーリズムのあゆみ</li> <li>・ 新たな農のビジネス</li> <li>・ グリーンツーリズムの企画と運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行の概念を理解し、現代人が求める癒しや学びの場としての農の持つ魅力や地域資源としての生かし方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査の評価</li> <li>・ 交流活動への取組状況</li> </ul>	
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民農園の特徴とあゆみ</li> <li>・ 観光農園と直売所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疲弊した都市部の人間に市民農園が与える影響や機能について理解する</li> <li>・ ビジネスとしての観光農園や農産物直売所について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査の評価</li> <li>・ 交流活動への取組状況</li> </ul>	
	検定資格(時期)	・ 資格については特になし			
	諸費用(予定)	・ 諸費用も特になし			
	履修にあたって	・ 農場での生産物を活用した交流活動(異校種間交流や市民活動など)への参加を予定している。			

教科・科目	商業・マーケティング	単位数	2	必修	必修	選択
学年・系列・コース	3学年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	高校マーケティング (東京法令出版)	副教材	教科書準拠マーケティング問題集 (東京法令) 全商商業経済模擬試験問題集 2級マーケティング (実教)			
目標とする生徒の将来像	①企業やその他の組織が提供する商品について、マーケティングに関する基礎的な知識、技術を身につける。 ②マーケティングの重要性について理解し、計画的、合理的なマーケティング活動ができるようにする。 ③全国商業高等学校主催商業経済検定2級マーケティングの取得を目指す。					
評価の観点	・激しく変化する現代市場においてマーケティングが果たす役割とその意義を理解する。 ・マーケティングに関連する職業への認識を深め、進路選択の幅を広げる。 ・商業経済検定2級マーケティング合格を目指して地道な努力と思考力を養う。					
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代市場の特徴</li> <li>マーケティングの概要</li> <li>市場調査</li> <li>販売計画と販売予測</li> <li>製品のライフサイクル</li> <li>3. 製品計画の要素</li> <li>4. 製品ミックスと製品政策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代市場が生まれた背景とその特徴について理解する。</li> <li>マーケティングの発展について、二つの社会性の観点から理解する。</li> <li>市場調査が、マーケティング活動の出発点であることを理解する。</li> <li>既存資料による特徴と使用方法を理解する。</li> <li>実態調査の具体的な手順について理解する。</li> <li>販売計画は、マーケティングに関連するすべての計画の前提となることを理解する。</li> <li>販売予測の指導を通して計数把握の方法に慣れ親しむ。</li> <li>製品のライフサイクルの4つの段階で実施すべきマーケティング活動を理解する。</li> <li>製品要素、製造物責任、環境保全について理解する。</li> <li>製品ライン、製品アイテム、製品ミックスの関係を明確に把握する。</li> </ul>			ノート・発言・実習  テスト  授業態度の観察等	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕入計画</li> <li>販売価格の決定</li> <li>販売促進の意味と進め方</li> <li>広告</li> <li>販売員活動</li> <li>その他の販売促進</li> <li>店舗の立地と設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕入計画の意味、手順、内容について熟知させる。</li> <li>価格決定の基本的メカニズムとして、需給関係のダイナミズムを理解させる。</li> <li>販売促進活動の全体像を概観させる。</li> <li>広告の役割について、経済的なものと社会的なものに分けて理解させる。</li> <li>広告の種類について理解させる。</li> <li>販売促進における販売員活動の位置づけを理解させる。</li> <li>各種の販売方式を理解させ、どの方式を採用するかによって店内設計の仕方が異なることを把握させる。</li> <li>多様な陳列方法やその位置を確認させ、そこに陳列すべき商品の特性について理解させる。</li> </ul>			ノート・発言・実習  テスト  授業態度の観察等	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足実現のマーケティング</li> <li>マーケティング検定対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティングによる顧客満足実現のあるべき姿を認識させる。</li> <li>マーケティング検定に向けて取り組ませる。</li> </ul>			ノート・発言・実習  テスト  授業態度の観察等	
検定資格(時期)	全商協会主催『商業経済検定2級マーケティング』受験 2月第1日曜日					
諸費用(予定)	全員受験・受験料1,300円					
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席をせず授業を受けること。忘れ物はしないこと。</li> <li>普段からニュースや新聞を読み、経済状況などを把握しておくことが、授業内容に感心を持ち、意欲的に取り組むことにつながります。身近な商店やスーパーやコンビニエンスストアなどの戦略等を研究してみるなど、自主的な勉強もしてみましょう。</li> <li>また、板書のみならず、授業内で発言した内容や、気になった言葉などをメモする習慣をつけることが必要です。</li> <li>検定資格目標は、商業経済検定2級マーケティングの合格です。経済活動と法などの科目とあわせて2科目合格で1級となりますので、挑戦してみてください。</li> </ul>					

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	地域産業	単位数	2	必修	・	必修	○	選択
学年・系列・コース	3年 総合学科 情報・観光系列							
使用教科書	国際ビジネス	副教材	山梨を生きる					
目標とする生徒の将来像	地域に経済活動に進んで参加できる力を養う							
評価の観点	自ら進んで課題に取り組み、研究成果を発表する							
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力				評価の観点		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨を知る</li> <li>1 産業の歴史を理解</li> <li>2 産業の現状を理解</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況(日頃の取り組み)</li> <li>・発表内容</li> <li>・レポート内容</li> </ul>		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅をプロデュース ～笛吹市初の道の駅を</li> <li>1 調査研究</li> <li>2 PPIによる発表</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況(日頃の取り組み)</li> <li>・研究内容</li> <li>・PP作成、発表</li> </ul>		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業を支えるプロ達の話</li> <li>1 カンプリア宮殿</li> <li>2 ガイアの夜明け 視聴</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書</li> </ul>		
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	特になし							
履修にあたって	特になし							



教科・科目	商業・財務会計Ⅰ	単位数	3	必履修	必修	選択
学年・系列・コース	3 学年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	財務会計 (実教出版)	副教材	段階式簿記検定試験問題集 1 級会計 (実教) 全商簿記検定試験模擬試験問題集 1 級会計 (実教)			
目標とする生徒の将来像	① 会計の基礎、基本的な考え方と技術を身につける ② 企業会計の意味、役割や制度を理解し、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用する能力を養う ③ 会計学を通して、ビジネスの活動、諸問題に目を向ける ④ 1 月実施：全国商業高等学校協会主催『簿記実務』検定 1 級会計合格					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計の基礎や会計の原則を理解している。</li> <li>・ それぞれの会計処理が正確かつ迅速にできる。</li> <li>・ 企業の財政状況に応じた財務分析や経営分析ができる。</li> <li>・ 検定試験に意欲的取り組み、簿記実務検定 1 級会計の資格取得を目指す事ができる。</li> </ul>					
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計の基礎</li> <li>資産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計の意味・目的と役割について理解する。</li> <li>・ 次の項目について理解する</li> <li>・ 資産の意味と分類について理解する</li> <li>・ 資産に関する各勘定について理解し、会計処理ができる</li> </ul>			ノート・発言 テスト 授業態度の観察等	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>負債</li> <li>純資産</li> <li>財務諸表の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負債に関する各勘定について理解し、会計処理ができる</li> <li>・ 純資産の意味を理解し、各漢書について会計処理できる</li> <li>・ 各種財務諸表が作成できる</li> </ul>				
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務諸表の活用</li> <li>連結財務諸表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務分析について、関係比率による分析ができ、レポートにまとめて発表できる</li> <li>・ 連結財務諸表の基礎について理解する</li> </ul>				
検定資格(時期)	全商協会主催『簿記検定試験 1 級会計』受験 6 月第 3 日曜日または 1 月第 4 日曜日					
諸費用(予定)	全員受験・受験料 1,300 円					
履修にあたって	2 年次での簿記の理解がないと難しい科目である。また、2 年次での簿記検定 (2 級) を合格していることがのぞましい。全商協会の検定試験では、この会計と原価計算の両方に合格することで簿記 1 級となる。 3 単位ものであると、休みが多くなると授業についていけなくなります。欠席が多い者は選択しないこと。ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する能力が求められる。よって、財務諸表の作成とともに、そのデータを分析・活用する力をつけたい。					

教科・科目	商業・原価計算	単位数	3	必修	必修	選択
学年・系列・コース	3 学年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	原価計算 (実教出版)	副教材	ビジネス基礎問題集 (東京法令) 簿記検定試験模擬試験問題集 1 級原価計算 (実教)			
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価計算の基本的考え方と計算および工業簿記の記帳法を習得し、原価についての理解する。</li> <li>・検定試験 (原価計算) に積極的に取り組み将来にわたって学び続けようとする姿勢を養う。</li> </ul>					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価計算の意味と特徴を理解し、それぞれの記帳ができる。</li> <li>・個別原価計算・総合原価計算の計算方法を理解し、その違いがわかる。</li> <li>・検定試験に意欲的取り組み、簿記実務検定 1 級原価計算の資格取得を目指す事ができる。</li> </ul>					
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力			評価の観点	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価と原価計算</li> <li>・材料費の計算と記帳</li> <li>・労務費の計算と記帳</li> <li>・経費の計算と記帳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価計算は製造業に適用されるものであることを理解する。</li> <li>・材料の仕入手続きと材料仕入れ帳の記帳方法、元帳への転記の関係を理解する。</li> <li>・労務費の意味と分類、内容を理解する。</li> <li>・貸金支払高の計算方法と貸金仕訳帳の記帳方法を理解する。</li> <li>・経費の意味と分類、内容を理解させる。</li> <li>・経費の計算方法と経費仕訳帳の記帳方法を理解する。</li> </ul>			ノート・発言 テスト 授業態度の観察等	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算</li> <li>・部門別個別原価計算</li> <li>・総合原価計算</li> <li>・製品の完成と販売</li> <li>・決算と本社・工場間の取引</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種原価計算のしくみを理解し、記帳できる</li> <li>・販売費および一般管理費の記帳方法を理解する。</li> <li>・工場会計の独立と、その場合の記帳方法について理解する。</li> </ul>				
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準原価計算</li> <li>・直接原価計算</li> <li>・検定試験練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営管理に役立つ原価計算の必要性を理解する。</li> <li>・標準原価計算・直接原価計算を理解する。</li> <li>・検定模擬問題によって、検定練習に取り組む。</li> </ul>				
検定資格(時期)	全商協会主催『簿記検定試験 1 級原価計算』受験 6 月第 3 日曜日または 1 月第 4 日曜日					
諸費用(予定)	全員受験・受験料 1,300 円					
履修にあたって	2 年次での簿記の理解がないと難しい科目である。また、2 年次での簿記検定 (2 級) を合格していることがのぞましい。全商協会の検定試験では、この原価計算と会計の両方に合格することで簿記 1 級となる。 3 単位ものであると、休みが多くなると授業についていけなくなります。欠席が多い者は選択しないこと。					

教科・科目	商業・ビジネス実務	単位数	2	必修修 ・ 必修 ・ <b>選択</b>
学年・系列・コース	3学年 総合学科 情報・観光系列			
使用教科書	ビジネス実務 (実教出版) <span style="float: right;">全商ビジネス文書実務検定模擬問題集 (実教) 副教材 全商珠算・電卓実務検定模擬問題集 (実教)</span>			
目標とする生徒の将来像	・ビジネス文書、電卓による計算の基礎的な知識と技術を習得し、商業技術の意義や役割について理解するとともに、ビジネスの諸活動に活用する技術と能力を持った生徒。			
評価の観点	・ビジネスに必要とされるワープロ入力とビジネス文書の基礎的な知識と技術を習得している。 ・電卓によるビジネスに関する計算ができ、割合の計算やビジネス計算に関する基礎知識を持っている。 ・ビジネス文書検定・電卓検定に向けて、積極的な態度で取り組むことができる。			
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力		評価の観点
1学期	ビジネス活動とビジネス文書  基本文書の作成 文書の構成、ワープロを利用した文書 社外文書・社内文書 電卓による計算計算 電卓を使った計算 加減算、乗除算、ビジネス計算	・機器を利用して文書を作成する知識と技術を習得する。 ・一般的によく作成される社内文書、社外文書の形式および内容に応じた表現の方法などについて理解し、基本的な文書が作成できる。 ・ビジネス計算1級の商品売買・複利・証券売買・仲立人の手数料に関する計算ができる。		ノート・実技  テスト 授業態度の観察等
2学期	応用文書の作成  電卓による計算計算 電卓を使った計算 ビジネス計算	・ワープロの多様な機能を利用し、創意・工夫をもって効果的に文書を作成し、処理する能力と態度がある。 ・ビジネス計算1級の商品売買・複利・証券売買・仲立人の手数料に関する計算ができる。		
3学期	応用文書の作成	・Wordの各種機能を使った文書の作成ができる。		
検定資格(時期)	全商協会主催『ビジネス文書検定試験2級・1級』受験、6月第3日曜日、 全員受験・受験料 速度部門800円・2級文書1,100円、1級文書1,200円6月第3日曜日、11月第2日曜日			
諸費用(予定)	全商協会主催『珠算・電卓検定試験1級』受験、6月第3日曜日、11月第2日曜日 全員受験・受験料 速度部門800円・2級文書1,000円、1級文書1,000円			
履修にあたって	ビジネスに必要とされるビジネス文書・電卓による計算の基礎的な知識と技術の習得を通して、技術を学ぶことの意義や役割を理解し、社会に出たときに対応できるよう学ぶことが必要です。ワープロの各種機能を使用しての文書作成・ビジネス計算の知識による正確な計算力は、将来のビジネス社会で生かすことができます。積極的に検定試験にも挑戦していきましょう。			

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	プログラミング	単位数	2	必修・必修	選択
学年・系列・コース	3年 総合学科 情報・観光系列				
使用教科書	最新プログラミング	副教材	模擬試験問題集 プログラミング1級(実教出版)		
目標とする生徒の将来像	情報処理関係の学校へ進学し、IT関連企業への就職を目指し、アルゴリズムの基礎・基本を学ぶ機会として設定。プログラミンの学習を通して、思考力を養い物事の段取りを考え効率よく進めるための力をつける。				
評価の観点	課題解決のために、様々な考え方を工夫し、最善の方法を導き出す力を養う。じっくり真剣に取り組み、自らの考えを表現することを第一とする。				
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力		評価の観点	
1 学 期	・プログラミング応用 2 コントロールブレイク 3 二分探索	・アルゴリズムの応用力		第2回定期考査	
2 学 期	4 多次元配列 5 順位付け 6 ソート	・アルゴリズムの応用力		第3・4回定期考査	
3 学 期	・資格取得対策 ・演習問題			第5回定期考査	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	1月第3日曜日(3学期)全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級プログラミング部門(VB) ①副教材 ¥702 ②模擬試験問題集 ¥929 ③受験料 ¥1,800				
履修にあたって	思考力を養い、物事の段取りを考え効率よく進めるための力をつけるためには、前後関係や環境を観察し、じっくり深く考える事が必要です。落ち着いて学習に取り組める必要があります。				

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	課題研究	単位数	2	必修	・(必修)・	選択
学年・系列・コース	3年 総合学科 情報・観光系列					
使用教科書	なし	副教材	なし			
目標とする生徒の将来像	自らの進路にむけて、研究研修を行い、その成果発表を自ら行う。					
評価の観点	・興味関心のある事柄に対し、真剣に調査研究を行い、自らまとめ成果を発表する力を養う。					
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点	
1 学 期	・自らの進路に関する研究発表 1 進路希望による調査研究 2 PPIによる発表	・自己探求力、解決力、表現力			・出席状況(日頃の取り組み) ・発表内容 ・レポート内容	
2 学 期	・興味関心のある分野の調査研究 1 テーマ設定 2 調査研究 3 PPIによる発表	・自己探求力、解決力、表現力			・出席状況(日頃の取り組み) ・研究内容 ・PP作成、発表	
3 学 期	4 報告書まとめ	・自己探求力、解決力、表現力			・報告書	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	特になし					
履修にあたって	特になし					